令和3年度
学校説明会

調布市立第七中学校

令和3年9月25日（土）
14：00～14：40

調布市立第七中学校

～自尊･立志･感動～

校長　山田　勝

校訓 「 **自尊・立志・感動** 」

～徳･知･体の調和のとれた生徒の育成～

　そのため、生徒･教職員･地域住民が七中に魅力と誇りを実感できるよう「地域協働の学校」作りを目指す。

【目指す学校像】

徳・知・体の調和の取れた生徒の育成

生徒一人一人に居場所があり、

安心・安全で自分の力を伸ばせる学校

【目指す生徒像】
徳・知・体の調和の取れた生徒の育成

「徳」自尊・・・自分を大切にし、思いやりの心をもつ生徒

「知」立志・・・夢や目標をもち、絶えず学び続ける生徒

「体」感動・・・心と体を鍛え、爽やかな感動を生む生徒

【目指す職員像】
徳・知・体の調和の取れた生徒の育成

○　愛情と理性を持って、生徒に本気で関わる職員

○　健康で自己の強みを理解し、生かすことのできる職員

○　指導の目的を共有し組織力の向上に努める職員

令和3年度重点課題と取り組み

【健全育成】

- 人権意識の醸成、トラブルを学びに変える指導の充実、
- 「聴きあえる集団づくり」関係機関との組織力の向上

〇「学校いじめ防止対策委員会」によるいじめの未然防止・早期発見・解決のための組織対応の徹底

〇予防的生活指導の実施（あいさつ・聞く・時間を守る・清掃活動）

〇人権意識の醸成 「特別な教科道徳」を要とした取り組み

〇生徒の微細な変化・変容を見極める視点を持った目

令和3年度重点課題と取り組み

【学力向上】

- 「主体的・対話的で深い学び」の実践による「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質の向上に向けた授業実践

〇「できる喜び」「伸びる喜び」「集う喜び」のある授業づくり

〇学習に「見通し」があり、各教科の特性を生かした「振り返り」のある授業づくり

〇生徒理解に基づく授業づくり

令和3年度重点課題と取り組み

【はしうち教室】

- 「心の居場所」づくり
- 新たな学びの提供
- 社会的な自立を目指した教育活動の実施

〇七中本体との日常的な情報共有・共通実践

〇カリキュラム検討

〇丁寧な個別指導の実践

〇七中本体等との人的資源の共有・活用の推進検討と実践

令和3年度重点課題と取り組み

【保護者地域との連携】

- 地域学校協働本部による教育活動の活性化
- 地域協働による校内外の教育環境の改善・充実

〇地域学校協働本部との協働による自習教室の開設

〇あいさつ運動

〇3R活動等

〇潤いのある環境づくり（校内外・地域）

令和3年度重点課題と取り組み

【特色ある教育活動】

- 生徒会や七中VNWによるボランティアマインドの醸成
- 大学及び外部専門機関等との連携による教育活動の質的充実
- 世界ともだちプロジェクトの推進

↓

〇七中VNWによる地域への発信・貢献
〇学芸大学・法政大学等との連携強化
〇せんがわ劇場や極地研との取り組み
〇大使館員等の招聘や大使館訪問

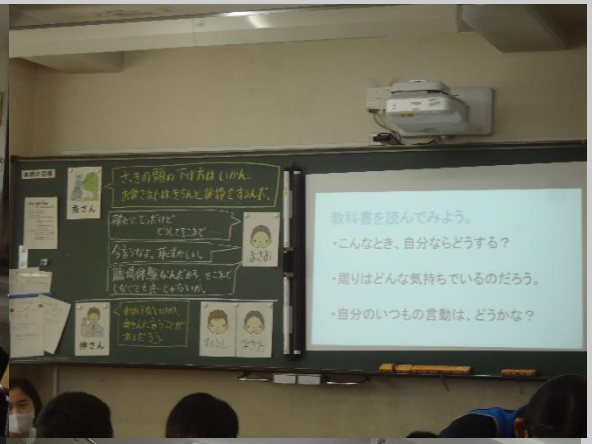
【目指す学校像】

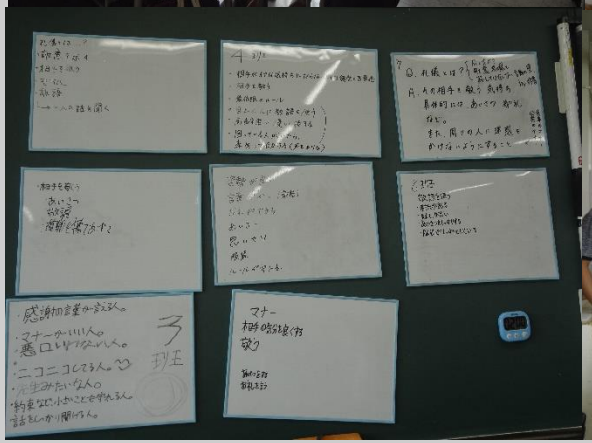
徳・知・体の調和の取れた生徒の育成

生徒一人一人に居場所があり、

安心・安全で自分の力を伸ばせる学校

教務部





○　授業を大切にして基礎基本の定着を図ります

○　道徳教育を充実させ、温かい心を育みます

○　総合的な学習の時間で、自ら学ぶ態度を育てます

各教科時数配当表

1学期の例

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技術・家庭	英語	道徳	学活	総合	合計
4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	1	2	29

※１年間　３５週　１週間２９時間
　１日　６時間授業（水は５時間授業）

※１校時　小学校４５分　→　中学校５０分

特色ある授業形態

・英語　少人数指導

・数学　少人数習熟度別指導

※習熟度別のクラス編成で、
きめ細かな指導を行い、基礎基本の定着を図る。

評価・評定

・観点別学習状況の評価は観点別にABCの３段階

・観点は「知識・技能」、「思考・判断・表現」、
「主体的に学習に取り組む態度」

・各教科の評定は「５・４・３・２・１」の５段階

校内研究テーマ

学びに向かう力を高め、
教科の目標を達成する
ための工夫
～PDCAサイクルを活用した授業改善～

生活指導部より
目標や取り組み

生徒全員が
安心・安全で、楽しい学校生活を
送るために

生活指導主任　加藤公太

目標

同向結束
(どうこうけっそく)

生徒・教員・保護者・地域の方々全員が同じベクトルで

生活指導の重点目標

- あいさつ
- 時間を守る
- 行事での団結
- 正しい判断力
- 一生懸命
- 真剣に聴く

目標を達成させるための具体的な取り組み

①基本的な生活習慣の徹底
②あいさつ励行
③地域への働きかけ(ボランティア活動)
④委員会・部活動を通した縦割り活動
⑤学校行事への積極的参加

基本的な生活習慣

・チャイム着席(授業準備)
・話を真剣に聴く
・身だしなみ
・学習に安心して取り組める環境づくり
(学習に関係のないものはもってこない)
・登下校のマナー

あたりまえのことを・あたりまえにできるように

靴は

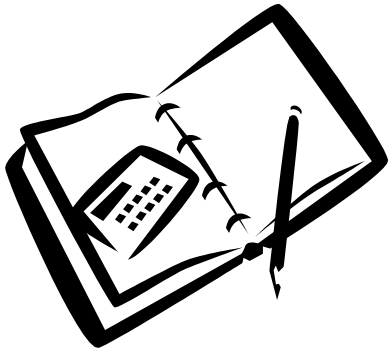
特別な指定はありません。

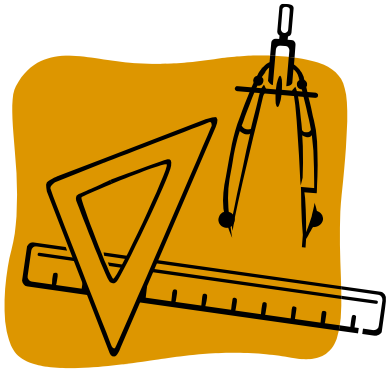
運動のできる靴にしましょう！

上履き（指定のもの）の色が決まっています。

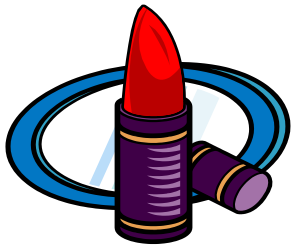
来年度の１年生の靴の線は赤色です。

持ち物は学習に関係するもの





必要のないものはもってこない！
ゲーム類も禁止です。

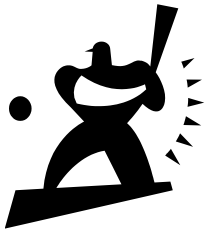
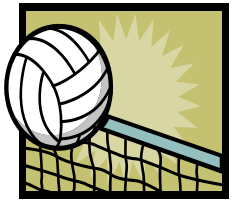


ＳＮＳについて

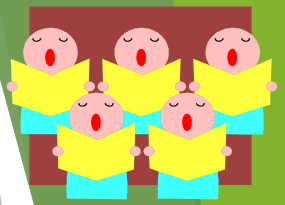
◎マナーを守り、上手に使う。
→セーフティ教室・道徳

◎各家庭でもルールやマナーの定期的な確認を。

(使用ルール、トラブル回避)

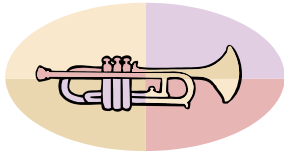



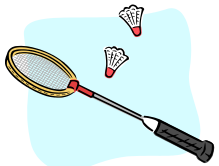
部活動



陸上競技部　　野球部　　サッカー部
テニス部　　バドミントン部　　バレーボール部
卓球部　　バスケットボール部
合唱部　　吹奏楽部　　美術部　　将棋部
文芸部

8つの運動部と5つの文化部が活動中。





生徒会活動

▶本部生徒会役員

年に１回選挙がある

生徒会長１名

本部役員６名

ボランティア活動

朝礼の司会

生徒活動の中心になる

▶６つの専門委員会

生徒委員会

生活委員会

美化委員会

図書委員会

放送委員会

保健給食委員会

学校いじめ対策委員会

管理職

生活指導主任

生活指導部教員

月１回実施
いじめアンケート

訴えやご意見

生徒

保護者

笑顔

やる気　　元気

明るい生徒の笑顔で、居心地のよい、
ステキな学校を、みんなで
つくっていきたいと思っています。

生徒主体の活気ある学校に

進路指導部より
目標や取り組み

立志（バトン）を託す

進路指導主任　増田麻人

進路指導部
総合的な学習の時間について

・ねらい「豊かな人間性を培う」

（１）コミュニケーション能力の
育成・向上を目指した学習

（２）様々な事柄について、課題を設定し、
調べ、どう向き合ったのかをまとめ、
表現・発表する能力を高める学習

SDGｓの目標を取り入れて

	単年	3年間共通
1年生 調布調べ	11 住み続けられるまちづくりを	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 10 人や国の不平等をなくそう 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
2年生 職場体験	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任	
3年生 修学旅行	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正をすべての人に	
3年生 進路学習	4 質の高い教育をみんなに	

１年生

・コミュニケーション講座
・特別支援交流会
・野川散策
・地域調べ
・スキー移動教室

２年生

・職場体験
・校外学習
（都内巡り）
・進路学習

３年生

・修学旅行
・進路学習

道徳の目標

1. 主体的に判断し，よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
2. 自らを律する心や他者を思いやる心など豊かな人間性を育む。

道徳指導計画

	指導の重点
１年生	所属する集団の中での自己の役割と責任を自覚 し、自主的に考え判断し、誠実に実行する態度を育てる。
２年生	生命の尊さを認識させ、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
３年生	色々なものの見方や考え方があることを理解し、謙虚に他に学ぶ広い心を育てる。

特別活動

1. 生涯にわたってたくましく生きていくための資質・能力を養う。
2. 多様な体験的な活動を通して望ましい人間関係を育成する。

キャリアパスポート

目的

小学校から高等学校を通じて，児童生徒にとっては，自らの学習状況やキャリア形成を見通りしたり，振り返ったりして，自己評価を行うとともに，主体的に学びに向かう力を育み，自己実現につなぐもの。

教師にとっては，その記述をもとに対話的にかかわることによって，児童生徒の成長を促し，系統的な指導に資するもの。

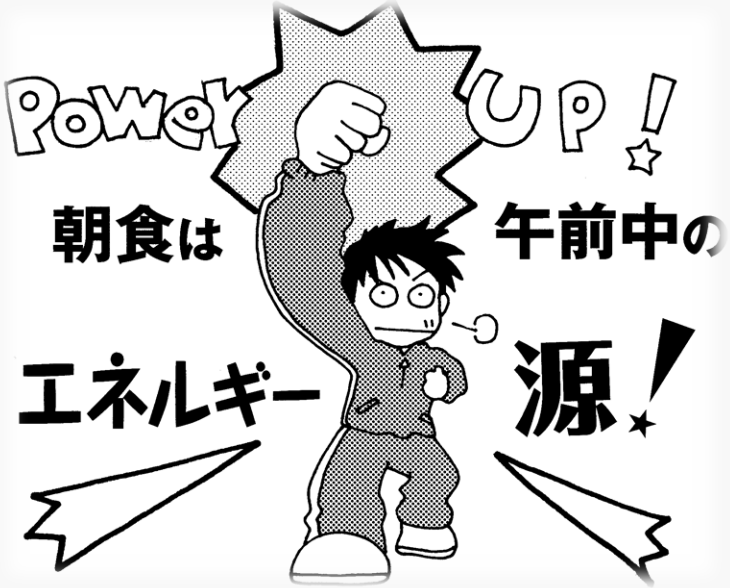
キャリアパスポート

1. 学期や行事の初め・終わりに自分の気持ちや考えを記録していく。
2. 個別に声掛け・面談等で活用

保健・給食について

保健

１．健康で充実した中学校生活のための生活習慣を。



２．早めの受診と相談を。

給食

１．給食と、お弁当持参の選択制

２．食物アレルギー対応について

学校説明会資料をご確認ください。

はしうち教室

「はしうち」という名前にこめられた想い

「はしうち」とは、
ヒナがふ化する時に殻を内側からつついて穴をあける
動作のことを意味しています。

⇒　『卒業後、社会へ出て自立する』

学級の目標

『誰もが安心して通える場所
（居場所になる）であること』

『社会で自立できる力』を身に付ける

時程・時間割について

	月	火	水	木	金
９：００～９：０５	学活				
９：０５～９：１５	*コミュニケーションタイム*				
１ ９：２０～１０：１０	数学	数学	英語	総合	*個別学習*
２ １０：２０～１１：１０	国語	英語	社会	総合	保健体育
３ １１：２０～１２：１０	道徳	国語	*表現科*	*個別学習*	保健体育
１２：１５～１３：０５	昼食・昼休み				
４ １３：１０～１４：００	技術/家庭科	社会	音楽	理科	美術
５ １４：１０～１５：００	*CST*	特別活動	音楽	理科	総合

授業について

・授業は３学年が一緒に受けています。

・国語・数学といった授業の他に、
コミュニケーション力を高めることを
目的とした授業（CST）や、自己表現力
を高めることを目的とした授業（表現科）
も行っています。

はしうち教室の日常的な取り組み

◎全ての教師が生徒に関わる。

・授業への参加・サポート
・休み時間・放課後等の
　　生徒とのコミュニケーション
・生徒が下校した後、毎日1時間、
　　生徒の情報交換
・家庭との深い連携と協力

ご静聴
ありがとう
ございました